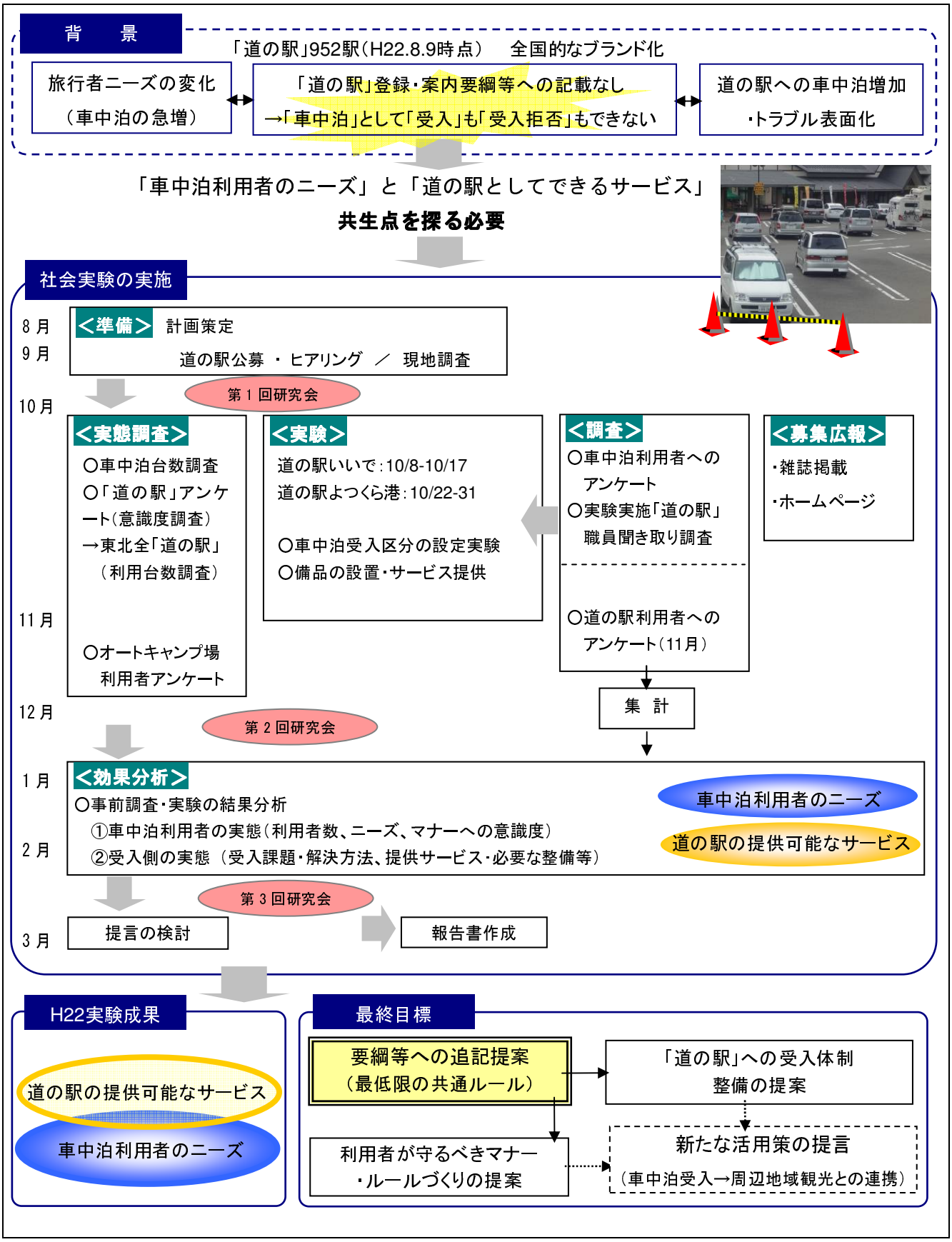
実験の概要（イメージ）


背　景
「道の駅」952駅（H22.8.9時点）　全国的なブランド化
旅行者ニーズの変化
（車中泊の急増）
「道の駅」登録・案内要綱等への記載なし
→「車中泊」として「受入」も「受入拒否」もできない
道の駅への車中泊増加
・トラブル表面化
「車中泊利用者のニーズ」と「道の駅としてできるサービス」
共生点を探る必要
社会実験の実施
8 月
9 月
＜準備＞ 計画策定
道の駅公募 ・ ヒアリング ／ 現地調査
第 1 回研究会
10 月
＜実態調査＞
○車中泊台数調査
○「道の駅」アンケート（意識度調査）
→東北全「道の駅」（利用台数調査）
11 月
○オートキャンプ場利用者アンケート
＜実験＞
道の駅いいで：10/8-10/17
道の駅よつくら港：10/22-31
○車中泊受入区分の設定実験
○備品の設置・サービス提供
＜調査＞
○車中泊利用者へのアンケート
○実験実施「道の駅」職員聞き取り調査
○道の駅利用者へのアンケート（11月）
＜募集広報＞
・雑誌掲載
・ホームページ
集　計
12 月
第 2 回研究会
1 月
2 月
＜効果分析＞
○事前調査・実験の結果分析
①車中泊利用者の実態（利用者数、ニーズ、マナーへの意識度）
②受入側の実態（受入課題・解決方法、提供サービス・必要な整備等）
車中泊利用者のニーズ
道の駅の提供可能なサービス
第 3 回研究会
3 月
提言の検討
報告書作成
H22実験成果
道の駅の提供可能なサービス
車中泊利用者のニーズ
最終目標
要綱等への追記提案
（最低限の共通ルール）
「道の駅」への受入体制整備の提案
利用者が守るべきマナー・ルールづくりの提案
新たな活用策の提言
（車中泊受入→周辺地域観光との連携）